

## 平成28年度 国語科教育にかかわる現状と課題

部長 須佐 一彦

### 1 国語科教育の動向

#### 【上越地区】

上越市、糸魚川市、妙高市では、授業研究を核として研修を深めている。上越市は小川高広教諭（高志小）、糸魚川市は谷内卓生教頭（青海小）と秋山佳子教諭（糸魚川小）、妙高市は重野ひかる教諭（新井北小）がそれぞれ授業公開している。授業研究のほか、妙高市は中野英康校長（末広小）による力のつく国語授業、糸魚川市は二瓶弘行教諭（筑波大附属小）による説明文の読解指導の講演会を開催した。

#### 【中越地区】

授業研究を中心に据え研修を深めている郡市が多い。長岡市・三島郡では萱森ルミ子教諭（栃尾東小）と牛腸真澄教諭（栃尾東小）、三条市では本間 博教諭（嵐南小）、十日町市・中魚沼郡では佐藤孝幸教諭（南中学）、燕市・西蒲原郡では中村真弓教諭（分水北小）、魚沼市では2回の授業公開を行っている。また、研修テーマに沿った講演会を開催し、指導力の向上を図る郡市が多い。小千谷市では物語文の読みを深める指導について、加茂市では書写指導について、南魚沼市では書写指導や教科書の編集委員と活用について話し合う研修に取り組んだ。見附市では実地研修を行った。柏崎市・刈羽郡では会員相互の交流と授業力向上をねらい国語会誌を発行している。

#### 【下越地区】

授業研究と関連させて講演会を開いたり、指導案検討を経て授業公開したりする郡市が多い。新発田市・北蒲原郡では田中亜由教諭（住吉小）、五泉市では澁谷かおる教諭（村松小）、胎内市では大滝貴好教諭（中条中）、東蒲原郡では天井 遥教諭（三川小）、佐渡市では大塚乃里子教諭（前浜小）、松田健太教諭（金井小）が授業公開を行った。村上市と五泉市ではアクティブラーニングについて講演会を行った。阿賀野市では単元構成についてグループで教材研究研修を行った。参加者が、講演内容について具体を演習を通して実感したり、グループ毎にアイデアを出し合っただけで教材研究を深めたり、授業実践を持ち寄って具体的な授業の手立てを検討し共有したりするなど、各地区で充実した研修会が行われていた。

#### 【新潟市】

主体的・協働的に学ぶ子供の育成のため、「新潟市の授業づくり」に基づいた国語科授業の工夫に取り組み、3地区で6名の教諭が授業公開した。授業者は、東地区では中澤理恵教諭（下山小）と伊藤千絵教諭（葛塚東小）、中央地区では佐山将平教諭（新潟小）と井上幸信教諭（万代長嶺小）、西地区では滝澤恵美教諭（坂井輪小）と村井暁子教諭（臼井小）がそれぞれ授業公開した。

### 2 国語科教育の課題

昨年度同様に授業研究を中核に据え、指導案の検討会を経て授業公開し、研究主題にせまろうとする地区が多く見られた。また、部員の主体的な参加となるように、実践を持ち寄る研修スタイルで、ワークショップ、グループ協議、実技指導などを取り入れている地区が多い。今年度の成果を活かし、次年度も授業改善に向けた取組を継続する必要がある。

今後の課題として、次の2点を挙げたい。

- ① 学習指導要領の改訂を踏まえた国語科で育成すべき資質・能力について研修を深めること。
- ② 言語活動を一層充実させ、主体的・対話的で深い学びの実現を図ること。